

かながわ人生100歳時代ネットワーク

「この指とまれプロジェクト」

新時代を支える地域の社会起業家
人材育成と支えるエコシステム



認定NPO法人藤沢市民活動推進機構

① 団体概要

認定NPO法人藤沢市民活動推進機構

まちづくり # 地域活性化 # 「つなぐ・支える・うごく」

市民および市民活動団体等に対して活動支援に関する事業を行い、市民活動の推進によるまちの活性化に寄与することを目的とする。

- 本社 神奈川県藤沢市
- 設立 1996年12月1日 / 法人認証 2001年02月26日
- 事業内容 **クラウドファンディング CAMPFIRE** (旧 FAAVO湘南)

地域でつながるワカモノ×NPOインターンシップ (トヨタ財団助成金より自立化)

藤沢市市民活動推進センター/プラザむつあい指定管理者 (2005年4月～/藤沢市内2ヶ所)

協働コーディネーター (2013年4月～ 藤沢市)

まちづくりパートナーシップ事業提案制度 (2014年～ 藤沢市)

NPO運営相談サポートテラス

(湘南信用金庫、日本政策金融公庫、神奈川県信用保証協会、藤沢市市民活動推進センター、藤沢市)

湘南SDGsネットワーク

農福連携マッチング等支援 (神奈川県)

2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ運営 (藤沢市)



②事業概要

- 概要

地域課題を解決する人材の教育、育成と
インパクト投資で解決を目指す新時代の地域エコシステム創設

- 実施場所

神奈川県 3 地域（横須賀三浦、湘南、県西）

- 経費

休眠預金活用事業助成金などで準備中

※ファンド（財団）設立の費用は別途。



実現したい未来へ

ファンド（財団）創設

持続可能な未来へのシナジー

あなたの資金が変える社会

02

- ✓ 社会起業家の育成プログラム（3年間）
- ✓ 中高生から参加できる
- ✓ 地域の仲間を作り課題を解決する

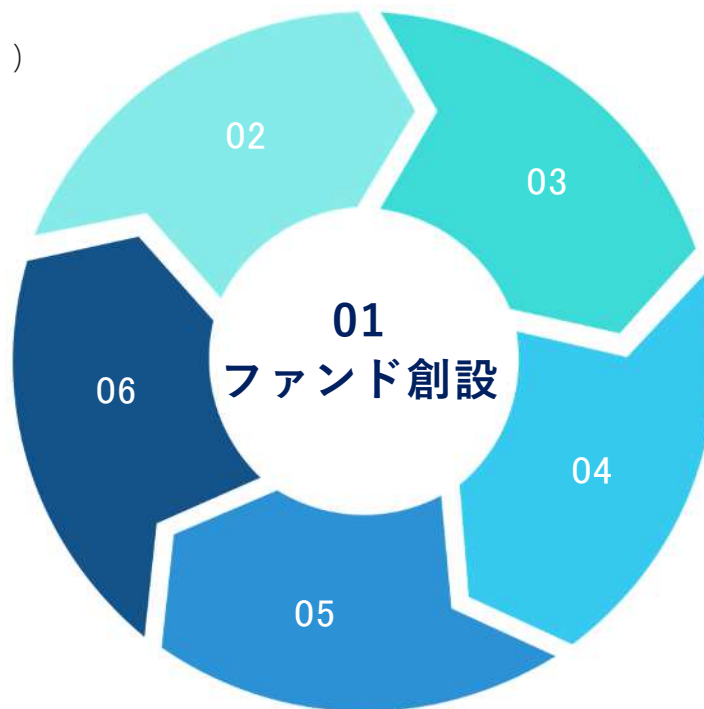


06

- ✓ 出資した起業家からのリターン
- ✓ 地域活性化インパクトの循環

01

- ✓ 社会課題解決へのインパクト投資
- ✓ 地元金融機関と連携して創設



05

- ✓ 寄付や遺贈、投資への意識醸成

03

- ✓ 経営ノウハウやネットワーク
- ✓ 社会的な影響力を活かして
- ✓ 社会起業家支援

04

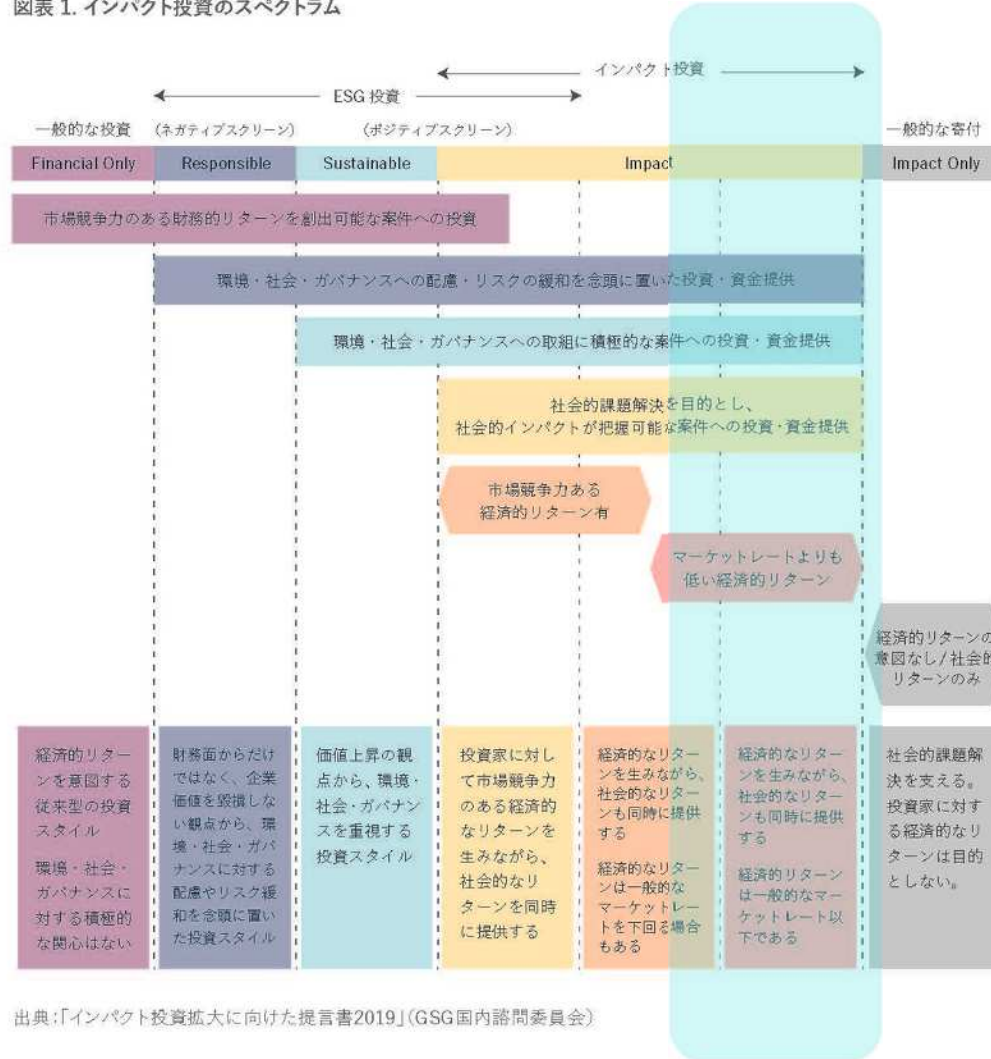
- ✓ 自治体との連携
- ✓ 地元企業などからメンター
- ✓ ビジネスパートナーシップ

(参考資料)

インパクト投資とは

出典：休眠預金等活用法の5年後見直しの対応方針

図表 1. インパクト投資のスペクトラム



社会起業家育成プログラムの主な対象

- 10代～20代 ワカモノ
- 20代～40代 女性



地域課題解決に関する3つの現状

- ① 神奈川県地域課題
- ② 地域課題を解決する人材の不足や減少
- ③ 社会課題解決のための資金の課題

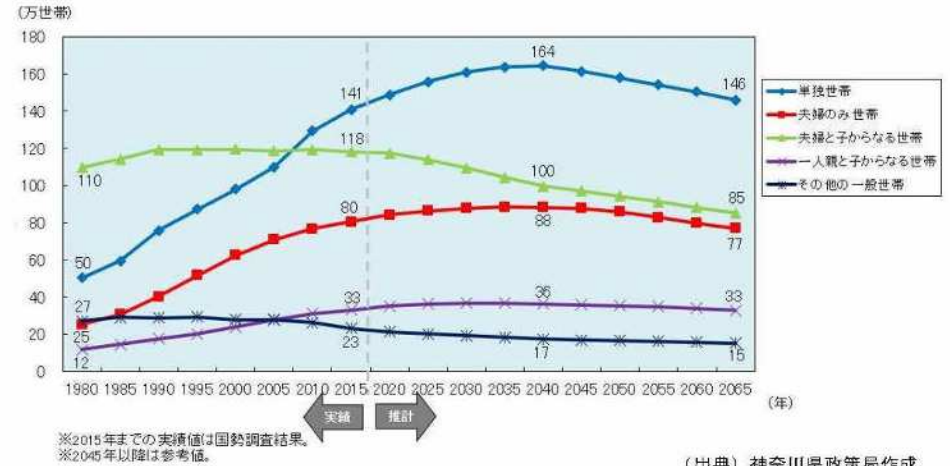


①-a 神奈川県 の課題

- ✓ 地域で異なる人口増加率、人口集中地区
- ✓ 年々増加する空き家
- ✓ 多様な文化が共存する地域社会
- ✓ 農林水産業における担い手の多様化
- ✓ 所得格差の拡大（男女の所得格差、若者の非正規雇用率）
- ✓ 二酸化炭素の排出量が基準値より高い、自然環境問題
- ✓ 身近な犯罪や事故の多発
- ✓ 生活習慣病増加
- ✓ 自殺者の増加
- ✓ 不登校、いじめ、虐待
- ✓ 暴力行為、薬物乱用
- ✓ 障がい者の取り巻く環境変化

出典：
令和4年3月
神奈川県総合計画審議会 計画推進評価部会

図表 1-5 家族類型別世帯数の推計（県）



（出典）神奈川県政策局作成

図表 1-23 公立小・中学校における日本語指導が必要な児童・生徒数の推移（県）



（出典）神奈川県「神奈川県公立小・中学校日本語指導が必要な児童・生徒数の推移」

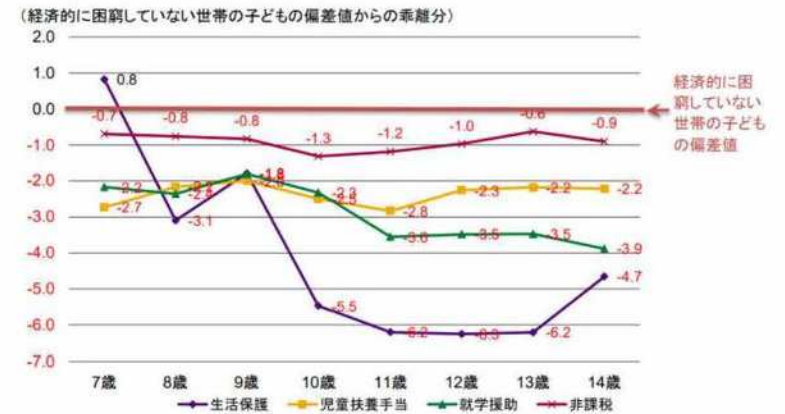
①-b 神奈川県 の地域課題

- ✓ 所得格差の拡大 (男女の所得格差、若者の非正規雇用率)
- ✓ 自然環境問題
- ✓ 身近な犯罪や事故の多発
- ✓ 不登校、いじめ、虐待
- ✓ 暴力行為、薬物乱用

	人口総数	0～29歳	構成比	青少年人口の割合
県計	9,236,337	2,457,798	100%	26.6%
横浜市	3,776,286	1,003,542	40.8%	26.6%
川崎市	1,538,133	445,213	18.1%	28.9%
相模原市	725,514	191,151	7.8%	26.3%
横須賀三浦地域	690,758	163,717	6.6%	23.7%
湘南地域	1,310,402	344,948	14.0%	26.3%
県西地域	336,119	78,959	3.2%	23.5%

出典：神奈川県年齢別人口統計調査結果 (統計センター 令和3年1月1日現在)

図表 1-14 経済状況が偏差値に及ぼす年齢別の影響 (算数・数学)



〔出典〕日本財団「家庭の経済格差と子どもの認知能力・非認知能力格差の関係分析」(2018年1月)

図表 1-12 コロナ下における「経済情勢の悪化」への不安

【男女別】 (単位:%)

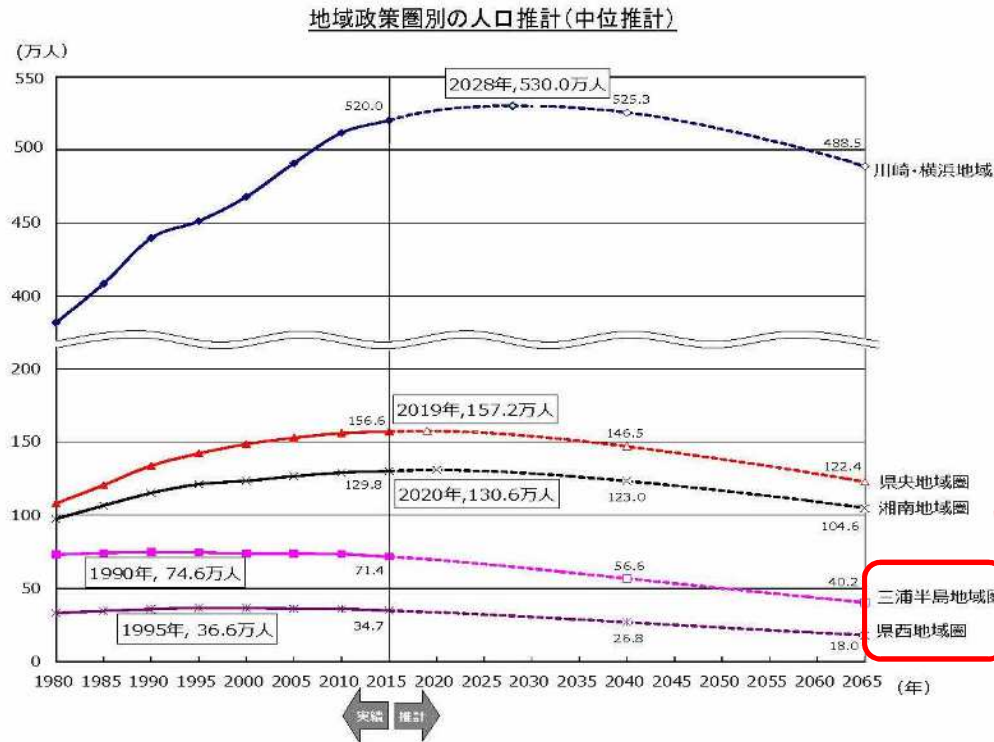
	不安がある	不安はない	わからない
男性	60.5	29.3	10.2
女性	71.5	20.9	7.6

【労働形態別】

	不安がある	不安はない	わからない
正社員	61.5	29.6	8.9
非正規社員	70.5	19.9	9.7
フリーランス	71.6	20.0	8.4

〔出典〕独立行政法人労働政策研究・研修機構「新型コロナウイルスによる雇用・就業への影響等に関する調査 (2021年7月)」より県政策局作成

②地域課題を解決する人材の不足や減少



出展：神奈川県将来人口推計・将来世帯推計（2018年12月推計）

③社会課題解決のための資金の課題

分類	種類	課題
給付型	助成金	短期的、実績がないと申請できない、選ばれないと使えない
寄付型	寄付	短期的、NPO法人への直接の寄付はかなり少なく6.9%（認定NPO法人は27.0%）※1、基金や財団に集まり助成金として再分配される構図となっている
	クラウドファンディング	短期的、不確実性 必要な金額まで達せない可能性がある。繰り返し行うことへの負担
	遺贈	認知度が低い、手続きが煩雑、 信用度の高い財団に集まり再分配されることが多い
金融型	融資	受けるための実績が必要。借金のリスクが伴う
	投資	インパクト投資ほとんど普及していない
自治体型	事業委託	短期～中長期。実績がないと申請できない

※1 令和2年度 特定非営利活動法人に関する実態調査（内閣府）

③事業の期待する効果

▼本事業で解決したいこと

社会課題に取り組む人材の育成と資金不足、

特に**収益構造を作りにくい社会課題の解決**に対して出資が難しい

という課題を解決したい

資金を心配せずに地域の課題に挑戦する

若者や女性の社会起業家の活躍が期待される

④対応するSDG s のゴール



⑤連携を期待するリソース

- **専門人材の不足** 財団設立のためのアドバイザー連携してもらえる金融機関を探しています
- **広報** SNSやオウンドメディアでの発信の協力者を探しています
- **講師や講座コンテンツ** 起業や事業の創業体験談など

※すでに湘南信用金庫、日本政策金融公庫、神奈川県信用保証協会との連携協定を藤沢市を含めて行っていますが、

「インパクト投資」に向けたアドバイザーを増やしたいと考えています

⑥事業のスケジュール

2023年9月～ 関係各所と調整

(地元金融機関、休眠預金活用事業助成金など)

2024年4月～ 起業家育成プログラムスタート

2025年4月 財団設立 (目標)

⑦ ネットワーク団体へのメッセージ

地域の課題を解決する「社会的起業や社会的事業」は、この10年でアメリカや北欧では当たり前になりました。これから**10年後、若者や女性が地域課題解決で活躍する社会を実現するため、**以下を募集します。

① 金融アドバイザー

② 起業家育成講座

- a. 講師 起業や事業の創業体験談など
- b. 講座コンテンツ 人材育成や事業創業に関連する内容など
- c. 広報へのご協力 チラシやSNS、オウンドメディアでの発信
- d. 会場の貸し出し 定期的に使用させて頂ける会場